



■ビオトープ・サロン マスメディアからの話題 ～街角の凶器・樹木に潜む危険～

去る6月9日に放映された、日本テレビ [NNNドキュメント '14] からの話題です。都市も、農村も、草木が [永続的に存在し続けられる場所] は消え去るのでしょうか？…緑が大切と誰もが疑わないはずなのに！（編集局）

【環境を支え修復する唯一無二の長寿生物…樹木が寿命を全うする場所がない】

街路樹や公園及び公共施設等、都市や道路に植栽された樹木が倒れ、器物破損や交通障害にとどまらず、人命をも奪う事故が各地で問題となっています。

広島県では、[文化センターのポプラの大木が通行人を直撃し死亡]、[児童公園の樹齢30年の木が根こそぎ倒れた]、神奈川県では、[ショッピングセンター内のケヤキの枝が落下し子どもが怪我]、大分県や東京都でも同様の倒木事故が相次いでいるそうです。

ポプラは並木や景観木によく用いられますが、根が浅く風に弱いのが特徴です。原産地は不明の栽培樹木ですが、北米に多く分布しており、我が国では北海道に多く植栽されています。本来の特性に加え、生育環境の不適合や舗装された道路の下では根が不健全となり、十分な点検が必要になります。

広島県の事故のポプラの樹齢は推定50年、原因を調査した樹木医は「根がもう死んで腐っていた。根から菌が侵入し幹も腐らせていた。」とのコメント。施設の管理者は「専門知識のない職員が目視のみで点検していた」とのことで、敷地内に残る1本も伐採したそうです。（適材適所は人間も樹木も同じ）

広島市の平和通りは、4kmにわたって180種類2000本以上の街路樹が植栽されているそうです。原爆の投下で75年間は草木も生えないと言われた広島ですが、国内だけでなく海外からも樹木が贈られ、平和通りは復興の象徴になりました。しかし、1965年の台風23号による被害をはじめ、この30年間で33種類の樹木が伐採され姿を消したそうで、今年も樹齢70年以上のケヤキの大木1本が伐採されました。この木も、伐採業者が驚くほどの空洞が広がっていたとのことでした。（ケヤキの寿命は2000年以上：茨城県の地蔵ケヤキは樹齢1600年）

神奈川県のショッピングセンター内のケヤキも、施設支配人は「目視のみの点検だった」とのことで、35年以上前に植えられたそうで、枝は枯れ、中は空洞になっていたそうです。

東京オリンピック以来、全国有数の街路樹を誇る東京都ですが、その数84万本。表参道には160本のケヤキがあり、資格を持つ専門家に樹木の診断を委託しているとのこと。1995年の台風12号を機に、一般職員が点検を行う体制を見直し、街路樹診断マニュアルも作成、今年度は68億円を樹木の整備と診断に当てるそうです。

7年後のオリンピック開催に向けて、再来年3月までに84万本を100万本に増やす計画が進んでいますが、景観と安全の両立という新たな課題に直面しています。

下の写真は、47NEWSの記事の中から一部を転載しました。…被害者は、人間か、樹木か、どっち？



【樹木に居場所と寿命を全うできる環境を…都市も農村も山も野も川も海も】

草木(植物)は、地球上で生産を担い生態系の基盤を支える唯一の生物です。また、樹木(森林)は、大気中の CO₂を吸収し長期にわたって固定してくれます。数々の倒木事故は、生物であることを忘れてしまったが故の必然でしょう。

行き着くところは、やはり土地利用 (どこにどのくらい残し、どこをどのように利用するか) の問題ですね。都市も農村も、山も野も川も海も、自然と人間の共存を真剣に考えないと、将来世代への負の遺産は膨らむばかりです。

消費の拡大を支えるマネー経済の成長は持続不可能と強く認識し、政財界の賢明な方々にはより良い方向へと舵を切って頂きたいものです。そのためには、私たち 国民の理解と価値観の転換が必要なことは言うまでもなく…？

ところで、映画「ノア 約束の舟」ご存じですか？ シネマサンシャイン北島で上映中です。映像、描写は別として、現代の社会へ、家族へ、人間へ、様々な示唆、メッセージが込められています。是非ご覧になってください。

■ビオトープ・サロン ビオとくコーナー ～ビオトープ管理士頑張る！～

新年度の施策や事業が活発化してきました。そこで、会員の活躍を簡単ではありますが紹介します。（編集局）

【生物多様性に関連する活動が活発化】

- 5月 6日 樫本管理士 NPO 団体が推進する「里山環境再生プロジェクト」の現地を視察、助言。
- 5月 25日 稲飯管理士 生物多様性とくしま会議主催の「勝浦川流域フィールド講座」で安全管理の講師担当。
- 5月 25日 樫本管理士 NPO 団体が推進する「里山環境再生プロジェクト」の企画会議に参画、助言。
- 5月 28日 樫本管理士 エコみらいとくしまが主催する「エコスクール」で県環境アドバイザーとして講師担当。
- 6月 8日 飯山管理士 生物多様性とくしま会議主催の「勝浦川流域フィールド講座」で千年の森の講師担当。
- 6月 13日 飯山管理士 公園ビオトープ計画と地球温暖化対策の勉強会でビオトープアドバイザーとして講師担当。
- 6月 29日 片山管理士 生物多様性とくしま会議主催の「勝浦川流域フィールド講座」で里山健康診断の講師担当。

■みんなの“たからもの” 耕作放棄地も捨てたものじゃない!? PART-II



ニュース065につづき、ご寄稿頂きました。（編集局）

【ユスラウメが耕作放棄地で豊作】

寄稿：Mさん

5月25日、日が低くなったので運動がてら、耕作放棄地へ草刈りに出向きました。びっくり、真っ赤な実が鈴なりに！急遽、草刈りを止めてしばらく眺めていました。花が咲いているのを見てはいましたが、その後はすっかり忘れていました。とにかく、まるでルビーのような…これがルビーだったら…と思わず、脳裏をかすめてしまった私です。あまりにもきれいな色なので、食べるのは後回しにして一枝を花瓶に挿しました。

■ビオトープ・セミナー 資格試験に挑戦して基礎知識を修得しよう！

ビオトープ管理士資格試験過去問題 出展：(財)日本生態系協会主催「ビオトープ管理士セミナー」のテキストより
無断転載禁止：本紙は公益財団法人日本生態系協会の許可を得て転載しています。（編集局）

【施工部門の択一問題：正答と解説は次号で紹介】

問67：雑木林の育成について述べた次の文のうち、誤っているものはどれですか。

1. コナラやクヌギの大径木を伐採した場合、萌芽が発生せず枯死することがある。この場合、現地産種子によって育成した2～3年生の実生苗を植栽する。
2. 下枝打ちの際、樹上に絡み上がったクスやフジなどのツル植物は、雑木林の種の多様性を維持するために、切り残して育成する。
3. 放置すると、初期成長が早いリョウブやエゴノキなどが優勢になるため、萌芽更新中のコナラやクヌギと希少植物を残し、年1回程度、それら以外の下草を刈り払う。
4. もやわけにより育成中の幹の下枝は、樹高成長を促すため、樹高7～8m、最下枝高4m前後になるまで枝打ちする。
5. 切り株からは多数の萌芽が発生する。伐採1年後は、優勢な萌芽枝3～4本を残し他は全て切る。このあとも根元の萌芽枝を間引き、最終的に2～3本に仕立てる。

■前号066の正答「4」

豊かな自然環境を有する地域を通過する国道整備事業等において、ビオトープ管理士として道路設計技術者にアドバイスする場合は、事項に留意する。①路線検討段階等、**極力早い段階**でアドバイスする。道路設計技術者が複数のルートと比較検討している場合は、**ルート選定**について具体的な環境上のアドバイスを行う。②ルート比較検討の際は、**効率・効果的な評価**を行うという立場から、各比較ルートの特性に対して、**有効な環境項目を選定**し具体的な**調査方法及び予測評価**についてアドバイスを行う。③選定されたルート案については、全国規模で絶滅のおそれのある種をとりまとめた国(環境省)のレッドデータブック(RDB)でなく、**事業地域の県のRDB**をもとに対策の提案を行う。④詳細設計時においては、アセスメントでの環境保全措置の実施に向けた**詳細な現地確認調査**を実施し、**道路設計技術者と議論**しながら**具体的な対策工**の設計を行う。⑤保全対象生物の繁殖期と工事最盛期が重なる計画になっているなど、**影響が明らかな場合は回避**しなければならない。事業の大小、工事工程の遅れ、事業費が膨らむなど、工事推進の負の要因に拘わらず、**対策を講じる必要性について科学的知見の下に明確に意見**を述べる。また、科学的知見が不十分な場合は、**【予防原則】**の下に悪影響の回避に努める。

※2級はどなたでも受験でき、四国の受験会場は「徳島大学工学部」です。自然環境の保全に関わる方には、是非とも取得していただきたい資格です。詳しくは、<http://www.ecosys.or.jp/> (公益財団法人 日本生態系協会HP)

■編集後記

ビオトープに関するお役立ち情報はもとより、皆様の生活や活動やお仕事等、日常を通じて見たり感じたりしたこと、身近な自然の春夏秋冬や喜怒哀楽のご寄稿をお待ちしております。ふるってご参加ください！ 編集局
 [E-mail : kanv@nifty.com URL : <http://biotopetokushima.yu-yake.com>]